

癌化学療法 投与計画書 （新規・変更）

カルテ番号

氏 名

生年月日

性別

病名：再発又は難治性の大細胞型B細胞リンパ腫、再発又は難治性の濾胞性リンパ腫（Grade3B）

患者本人へ説明した内容：

プロトコール名：Mosun-Pola療法（2～6サイクル目）

身長(cm)体重(kg)体表面積(m²)

クール目

開始日

次回予定日

- 確認事項
- ☐ CRS発現がなければ、2サイクル目以降は前投薬デカドロンを削除可。
- ☐ レスタミン・カロナールは任意で必要な場合は別途処方要。
- ☐ CRS発現時の対応は当院血液内科対応マニュアルを参照。
- ☐ 2サイクル目、投与開始1～2日前から投与終了後少なくとも24時間は、TLS予防に約2～3L/日の水分摂取を推奨。
- ☐ 3サイクル目以降の水分摂取推奨は任意。

*0.2又は0.22μmのフィルターを通して投与							Day 1	Day 2	Day 3	標準投与量
	薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	1月 0日	1月 1日	1月 2日	
1	デカドロン錠(4mg)		5錠	経口		削除可	○			ポライビー
2	生理食塩液		50mL	点滴	15分		○			
3	生理食塩液	★下記参照	点滴				○			
	注射用水		0mL	点滴	初回90分→ 忍容性が良好であれば2回目以降30分投与可	30mg製剤は1.8mL、 140mg製剤は7.2mLで溶解	○			
	ポライビー	1.8mg/kg		点滴			○			mg
4	生理食塩液		50mL	点滴	15分		○			ルンスミオ
5	ルンスミオ皮下注	45mg/body		皮下注			○			45mg

1サイクル： 21日

投与日：ポライビー day1

ルンスミオ day1

★ポライビー希釈の生食の量		
患者体重	45kg未満の場合	50mL
	45kg以上の場合	100mL

(3) 本剤休業後の再開時の投与方法に関しては、CRSを予防するために、以下の通りとすること。

前回投与日・投与量	前回投与日からの間隔 ^{※1}	投与方法
1サイクル目	1日目 5mg	1サイクル目1日目として、1日目に5mg、8日目及び15日目に45mgで投与を再開すること ^{※2} 。2サイクル目以降は、1日目に45mgを投与すること。
	8日目 45mg	1サイクル目8日目として、8日目に5mg、15日目に45mgで投与を再開すること ^{※2} 。2サイクル目以降は、1日目に45mgを投与すること。
	15日目 45mg	2サイクル目1日目として、1日目に5mg、8日目に45mgで投与を再開すること ^{※2,3} 。3サイクル目以降は、1日目に45mgを投与すること。
2サイクル目以降 45mg	6週間以上	1日目に5mg、8日目に45mgで投与を再開し ^{※2,3} 、その後は1日目に45mgを投与すること。

※1： 前回投与日からの間隔が上記より短い場合は、予定されていた用量で投与を再開する。
※2： 本剤の投与前に、副腎皮質ホルモン剤を投与すること。
※3： 投与再開後の最初のサイクルの15日目は、投与しないこと。

- 【注意事項】
- 1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします
- 2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。